

ユニット名	島根大学吹奏楽部
代表者	國近茉央
所属人数	63名
達成に資するSDGs目標	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう
活動概要	45期(2025年～) 4月19日、26日:スプリングコンサート 6月7日:東部地区吹奏楽祭 6月29日:第42回サマーコンサート 8月4日:川津幼稚園 訪問演奏 8月7日:しらゆり第2保育園 訪問演奏 8月10日:第66回全日本吹奏楽コンクール島根県大会 8月19日:笑美保育所 訪問演奏 8月21日:嵩見保育所 訪問演奏 8月22日:放課後デイサービスハーモニー大輪 訪問演奏 8月24日:第66回全日本吹奏楽コンクール中国大会 12月7日:第71回中・四国国立大学合同演奏会 12月28日:第44回定期演奏会 以上
主な連携先 (予定を含む)	川津幼稚園、しらゆり第2保育園、笑美保育所、嵩見保育所、 放課後デイサービスハーモニー大輪、中・四国国立大学
成果物の公表予定、 社会への波及効果	1,8部員間で就業に関する情報交換を積極的に行い、良好な就労環境を有する アルバイト先や求人情報を共有することで、学生の就業機会の拡大に貢献して いる。 2:OB・OGが定期的に差し入れを行うほか、先輩部員が後輩を食事に招くな ど、部員同士が支え合う温かな交流の場が形成されている。 3:音楽活動を通じて心の豊かさを育み、部員の精神的な充実と健康の増進に 寄与している。 4:保育園、幼稚園、デイサービス等への訪問演奏を実施し、幅広い世代に音楽 の魅力を伝えとともに、音楽教育の普及に貢献している。 5:性別にかかわらず、全ての部員が対等な立場で音楽活動に参加し、互いを尊 重しながら活動している。 10:学年や担当パートの違いにとらわれることなく、それぞれの個性や能力を 発揮できる環境づくりに努めている。 12:楽器やマウスピース、リードをはじめとする備品を大切に取り扱い、適切な 管理と継続的な活用を心がけている。 13:演奏会等の移動においては可能な限り公共交通機関を利用し、また、日常 の活動においても省エネルギーを意識した運営に努めている。 17:部員一人ひとりが協力し合い、それぞれの役割を果たしながら、一つの音 楽を創り上げる活動を実践している。
活動報告書	今年度は特に、保育園での訪問演奏に力を入れて活動を行った。募集をしてみ ると、私たちの予想を遥に上回る件数の依頼をいただいた。実際に施設を訪れ てみると、「生の演奏が聴ける貴重な機会になった。」「園児達がとても楽しそう にしていた。」「継続的に来て欲しい。」など、とても嬉しい感想をたくさんい た。これらの経験を通じて、私たちの訪問演奏という活動は地域から求め られていると強く感じる事ができた。加えてこの活動を通じた効果とはまだ 言い切れないが、年末に行った弊部の定期演奏会にも多くの小さい子が来場し てくれた。訪問演奏や無料の演奏会など、小さい子や地域の方々にとって 音楽を身近に感じていただける機会をこれからも継続して提供していきたい。 一方で、移動費や楽器修理費など金銭的にきつい状態が続いている。そのた め、外部との繋がりをより一層強化し、資金援助や演奏機会の増加などを図り たいと考えている。そのための手段として、SNSを通じて日々の活動の様子を 投稿したり、地方紙への掲載を考えている。 「音楽」という一見するとSDGsと直接の関わりがないように感じる活動でも、 深堀をしてみると繋がりがあることに気が付くことができた1年間だった。初年 度ということもあり、手探りな部分も多くあったが、所属している全員が自分達 の活動に誇りを持ち、身近なものが意外とSDGsとも繋がっているということ をまずは認識することが大切なのではないかと感じた。